

福總新聞

(毎月 廿五) 二回
 定價 郵部五圓 電話月廿錢
 廣告料 郵部五圓 電話月廿錢
 發行所 福總新聞社
 市島 三
 福島縣平町十四

はリスク
 目丁五町平
 局藥邊野山

七週年記念 旅行特輯號

はしがき
 熱愛と御奉願による愛讀者諸氏の御聲援なる賜物として創刊七週年の記録を迎えたる悦びに満ちた私は愛讀者諸賢に對する謝恩を思ひ立ち五月廿六日午前一時の平發列車に快心に燃ゆる小軀を乗せて出發の途に立つ
 田園の青苗は朝露を含んで生氣に燃え陽光に目醒めて踊る蛙に潑刺たる元氣あり 車窓展望すれば赤井嶽の山麓一帶は雄大なる深緑漂ふ初夏の陽生氣分に満ちて本社十週年後の將來に益々隆揚氣分の祝福を表與するものゝ如くに想はれて今朝は何んとも見るものゝ如く總てに聲ありて希望と喜びに限涯なき汽車は行く／＼各驛を過ぎて小野新町驛に付く

小野新町

小野新町は平町と郡山市の陳された、先生は言行一致中間に在る商業と産業に隆努力敢行の人物であるを町盛を誇る町である
 先づ年來の顔知りである
 新町裁縫女学校の横山己之七氏を訪ふ
 「先生はと聞けば」取次の日あるだけに今は百名内外の先生は今朝四時頃から農生徒の在學を見、實質的與園にまへりました朝食を喫氣分に満ちてゐる
 りに歸る頃ですといふので生徒達も先生の意氣を尊玄關に御待ちする 待つ間重して眞剣味に修學を怠ら程なく先生は平素通り半勞ない事は一見して判る、尙働服の所々に水と泥とに汚先生を扶けて今日に至らしたまふの立出て謹嚴な勇めた婦君の努力も忘る、事姿を現はす 例の通り快活は出来ない、聞く處婦君はな語調で廿分計り子女教養尤も得意とする刺繡術の如上に對する熱心な所信を開き縣下稀に見る優秀技能者

川前村の素封家

永山徳一氏

氏は田村實業頭取として縣財界にも最も信望ある人で常に自力更生を叫び自ら筆頭に立つて軌範を垂れてゐる人、今次に於ける町會議員選舉に際して町の圓滿に自治体に所する好軌範に則り選舉を無競争に終はらしめた氏の徳望と卓越せる識見は永久に記念として大書するに値するものである

片曾根村

片曾根小學校校長

氏は人も知る厳正にして犯し難い人格の所有者である縣下に於ける小學校校長の先輩として教育方面に甚大なる貢献をなしてゐる

都路村

渡邊鐵太郎氏

渡邊鐵太郎氏 最年少縣議員として先輩を凌ぐ力量と識見に富む人、將來の代議士として本舞臺に活躍する事は明かだ現福島縣政黨支部遊説部長として光つてゐる、同村の人物としての村議である

大越村

御大 宗像利吉氏

御大 宗像利吉氏 定評ある人益々村繁榮のため努力の限を致してゐる

瀧根村

村長博田内藏人氏

村長博田内藏人氏 醫を業として醫の聞え高く亦村治に對しては熱心なる村長として知らる

大久村

村長に柳内義一氏

村長に柳内義一氏 在り性極めて剛健にし曲つた事が大嫌ひなので知らる

双葉郡廣野村

廣野炭礦の旺盛期には郡

廣野炭礦の旺盛期には郡内の繁榮村と迄云はれたものだが炭礦が止めてから後廣野は聊か淋しい、淋しいが村民の更生に燃ゆる意氣によつて今でも陽光氣分が村内に漂つて居る亦名温泉折木温泉の名によつて周知され繁榮も來たしてゐる

常葉町

常葉町は生産業産馬の名

常葉町は生産業産馬の名産地にして周知されてゐる丈け相當人の出入もあり人ものもある。有名なる青山堂醫院主 青山重一郎氏は刀匠に於て益々躍動せられん

谷地温泉

谷地温泉は田村、石川屋

谷地温泉は田村、石川屋共新館清壯なる新館造りでも入浴客のために何にれとなく便宜を計つてくれる割合に宿料が安いので浴客が絶えない亦温泉が病患者に對して奇効を奏してゐるなど有名である

久之濱町

近年に魚獲高が減つた關

近年に魚獲高が減つた關係上淋しい味はあるが、それだけに立派な町である旅館としてその龜屋、吉田屋など座敷も奇麗で特に旅客に對して勉強本意としてゐる海邊の勝景は終日の眺めを慾まよにさせる、夏季海水浴客が年に殖えて來てゐるなど之れ等によるものであらう、一見頑固の如くなれど亦當つて極く粹である

優味のある町長木村倉治氏は町刷新繁榮のために身命を賭して働かれてゐる人でも亦力量識見共も備はつてゐる名町長である亦町を飾る人々に新盛雄一氏(消防組頭で實業家)酒井元廣氏(通運業を営む信用家)富澤順平氏(現町會議員徳望家)佐々木系平氏(漁業組合理事信用に富む人)遠藤與平氏

(以下二面へ)

